



令和7年10月10日
加茂市立須田中学校 学校だより 第7号

アカシアの花

～ 夢・希望・志のある学校 ～



生徒会スローガン

すばらしい体育祭！大成功でした！！

9月27日（土）、晴天のもと「咲（さけ）～戦いの先に見える絆から～」をスローガンに、加茂市立須田中学校の体育祭が開催されました。昨年に続き、今年もまた、一味違った感動の体育祭となりました。生徒の皆さんにとって、忘れられない思い出になったことと思います。

3年生は学校のリーダーとして、1・2年生を引っ張りながら準備を進めてきました。時間の限られた中で仕上げた力作のパネル、何度も工夫を重ねた応援合戦、そして競技での作戦の実行。どれをとっても、生徒たちの真剣な姿勢や、相手チームをたたえ合う態度が光る、心あたたまる体育祭でした。

当日は、多くの保護者や地域の皆さま、小学生や卒業生の皆さんも会場に足を運んでくださり、全員で体育祭を盛り上げてくださいました。「チーム須田」を感じる、まさに一体感に包まれた一日となりました。

応援の音が響きわたり、全力で走る姿、声をからして仲間を応援する姿に、見に来てくださった方々も引き込まれ、一緒になって感動を共有できたことと思います。生徒たちの姿から、体育祭の楽しさ、そして仲間と力を合わせることの素晴らしさを感じていただけたのではないのでしょうか。

この体育祭を通して、生徒の皆さんは、「協力することの大切さ」や「仲間への感謝の気持ち」、そして「やり遂げた達成感」を味わうことができたのではないかと思います。生徒一人ひとりの輝く姿を見て、心からうれしく、誇らしく感じました。

本当にお疲れ様でした。そして、会場に足を運んでくださった皆さまにも、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



新人大会激励会が行われました！頑張れ！！

9月24日（水）、10月に開催される新人戦に向けて、激励会が行われました。3年生の先輩たちが引退し、新チームとなってから初めての公式戦となります。ここからが、皆さん自身の新たな挑戦のスタートです。

男子卓球部の皆さんは、2年生ながらすでに卓球連盟の大会で県大会出場という素晴らしい実績を残しています。1年生も、全員が未経験からのスタートでしたが、3年生・2年生の努力と姿勢をしっかり受け継ぎ、練習を積み重ねてきました。その経験と実力を自信に変えて、さらに高みを目指して挑戦してください。

女子バレーボール部と、チームTOSのK.Aさんは、春の大会では他校との合同チームという難しい状況の中でも、仲間と力を合わせて取り組んできました。そのときの努力や工夫は、きっと今回の大会でも大きな力となるはずです。

また、陸上クラブのK.Cさんは、日々黙々と練習に取り組み、自己ベストを目指していることと思います。短距離走は体への負担も大きい競技ですが、体調をしっかり整えて、自分の力を最大限に発揮してきてください。

新人戦は、結果もちろん大切ですが、それ以上に、自分たちの課題を見つけ、チームとしてどう成長していくかを考える、大切な機会です。仲間を信じ、自分を信じて、全力でプレーしてください。皆さんの健闘を心から応援しています。がんばってください！



バレーボール部女子とチームTOSの皆さん



陸上クラブ



卓球部男子の皆さん



生徒全員で円陣を組んだ様子

衝撃の健康情報 コロナやインフルエンザと認知症の関係について！！

9月のはじめに、タモリさんが出ていたNHKの健康番組で、「コロナやインフルエンザなどの病気にかかると、将来 認知症になるリスクが高くなるかもしれない」という衝撃のある話がありました。番組では、いくつかの研究をもとに、以下の可能性があることが紹介されていました。生徒の皆さん、保護者の皆さんも、この情報は今知っていただいた方がよいと思い、掲載させていただきました。今後も、研究が進み、もっと詳しいことが解明されるのではないかと思います。ご家庭でも、話題にしていただければありがたいです。

1 コロナにかかると、認知症になりやすくなる？

イギリスの研究によると、コロナにかかった人の脳では、「アミロイドβ（ベータ）」という物質がたまりやすくなっていました。これは、年をとったときと似た変化で、コロナにかかると、脳が「4年分年をとった」ようになると考えられています。

また、記憶力などをはかるテストでも、「2年分悪くなる」という結果が出ています。アメリカのデータでは、コロナにかかった人は、かかっていない人よりも、アルツハイマー病になるリスクが2倍、記憶が悪くなるリスクが1.8倍近くになるという報告もあります。

2 インフルエンザなどでもリスクがある？

ヨーロッパの研究では、インフルエンザなどのウイルスによる肺炎でも、認知症のリスクが高くなることがわかってきました。

一方で、インフルエンザの予防接種（ワクチン）を受けていた人は、認知症になりにくいという結果もあります。つまり、病気にかからないようにすることが大切です。

3 病気そのものだけでなく、生活の変化も影響する

コロナが流行っていた時期には、外に出なかったり、人と会わなかったりすることが増えました。そうした生活の変化によって、認知症が進んでしまったお年寄りも多くいたそうです。

つまり、「病気になること」だけではなく、「生活が変わること」も、脳にとってよくない場合があるということです。

4 まとめ

- ・タモリさんの話は、今の研究でも「可能性がある」と言われている内容でした。
- ・「必ず認知症になる」というわけではなく、「なるかもしれない」という注意が必要という意味です。

※ 認知症ってなに？

保健体育でも学習しますが、認知症とは、脳の働き（記憶・判断・会話など）が悪くなり、日常生活に困るようになる病気です。人や場所が分からなくなったり、話すのが難しくなったりします。

※ アミロイドβ（ベータ）とは？

脳の中にできる、たんぱく質のかげらです。これがたまりすぎると、脳の細胞がこわれて、認知症の原因になると考えられています。

※ 認知症にならないために大切なこと！！

- ・コロナやインフルエンザなどにかからないよう、一人一人が手洗いやワクチンで予防する。
- ・外に出たり、人と話したりして、運動や頭を使うことを続ける。
- ・「ちょっとおかしいな」と思ったら、早めにお医者さんに受診する。

◎認知症の種類

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症（ピック病）などがあります。症状も個人差で違うようです。

◎認知症の人への接し方のポイント

- ・お話しすることや行動等を否定せずに、受け入れてあげる。
- ・分かりやすい言葉でお話しする。生活しやすい環境を整えてあげる。
- ・本人の尊厳を守る。
- ・家族や介護者もサポートが必要なケースがあれば、早めに市役所等に相談する。

コロナやインフルエンザなどの感染症には気を付けて、過ごすということが大切になるのではないのでしょうか。そして、気を付けていても、**予防していても誰もが感染する可能性があります。感染したときには、差別等がないよう、ご配慮いただければと思います。お互いに、引き続き感染予防することが重要になってきます。健康第一ということですね。**

社会を生き抜く力を育てるために大切な5つの力

アメリカの「スタンフォードが中高生に教えたこと」という本があります。星友啓（ほしともひろ）さんという方が書かれた本です。星さんは、スタンフォード大学・オンラインハイスクールの校長を務める、日本出身の教育者です。1977年に東京で生まれ、東京大学文学部思想文化学科・哲学専修を卒業。その後アメリカへ留学し、哲学修士号、スタンフォード大学で哲学博士号を取得。スタンフォード大学では哲学部講師も務め、オンライン高校のスタートアッププロジェクトに携わったのち、2016年より同校の校長に就任された方です。その本の中で、「社会を生き抜く力を育てるために大切な5つの力」が書かれていました。とても大切なことだと思いましたので、ご紹介させていただきます。ご家庭でも、お子さんと話し合っていたらと思います。

1. 自分をよく知る力
 - ・自信を持ち、「努力すれば自分はもっと成長できる」と思える気持ちを大切に。
 - ・自分の得意なことや苦手なことを、きちんと知っている。
2. 自分をうまくコントロールする力
 - ・イライラしたり不安になったときに、うまく気持ちを落ち着かせることができる。
 - ・やりたいことや目標に向かって、やる気を持ち続けることができる。
3. 他の人を理解する力
 - ・自分とはちがう考え方や文化を持つ人の気持ちを理解しようとしている。
 - ・他の人の気持ちに共感したり、思いやったりすることができる。
 - ・他人から、新しいことを学ぼうという思いがある。
4. 人と良い関係をつくる力
 - ・まわりの人と気持ちのよいやりとりができ、いっしょに協力して行動することができる。
 - ・間違がった行動や悪い空気に流すことがない。けんかや対立があっても、話し合ってよい方向にまとめることができる。
 - ・困ったときは人に助けを求めたり、逆に人を助けたりしている。
5. 責任ある行動や判断をする力
自分の言動に責任を持ち、人と関わる時も「正しいかどうか」、「安全かどうか」を考えて行動できる。また、その場にふさわしい判断ができている。

育友会主催「環境整備作業」

ありがとうございました！！

9月20日（土）育友会主催の親子環境整備活動が行われました。天気が不安定との予報もありましたが、幸いにも雨に降られることはなく、過ごしやすい気温の中で作業を進めることができました。

今回の活動には、保護者と児童を合わせて63名の参加でした。たくさんのご協力をいただき、感謝申し上げます。

作業の中心となったのは、側溝にたまった泥の除去です。水がやや残る中での作業となり、泥を袋詰めして一輪車で運びながら、保護者の皆様と子どもが力を合わせて取り組むことができました。重たい泥の入った袋を運搬する場面では、生徒たちが率先して動いてくれたのが印象的でした。

作業は約30分ほどで目に見える成果が出はじめ、皆さんの協力によって、側溝の中が見違えるようにきれいになりました。

その後は、体育祭に向けた準備の一環として、グラウンド内の石拾いも行っていました。全員で一斉に取り組んだことで、かなりの量の石を除去することができました。

およそ1時間の作業時間で、参加者一人ひとりの力が合わさり、気持ちのよい達成感ある環境作業となりました。

ご参加いただきました保護者の皆さま、生徒の皆さん本当にありがとうございました。また、来月行われる学習発表会のバザーへのご協力（配付時等）も、よろしくお願いいたします。

環境整備作業の様子



スクールアシスタントさんの書

思春期の中で、一人一人いろいろあると思うけれど、心と心をつないで、自分なりに精一杯つながろうという気持ちを持つことが大切です。

この気持ちを大切にしているからこそ、須田中学校学区や須田地区が居心地がよく、老若男女等のつながりがとても強いのだと思います。とてもいい地区ですね。

拠点型資源回収 ご協力ありがとうございました！

10/7～9の3日間実施した拠点型資源回収にご協力いただき、ありがとうございました。

新聞やダンボールのコンテナはすぐにいっぱいになり、業者さんに引き取っていただきました。資源回収での収益金は、学校の教育活動、またこの先閉校に向けての諸準備のための資金として、大切に使用させていただきます。

生徒もお礼の言葉を伝えていました



各学年だよりより

○1年生（R 7. 9. 26号より） 新人戦への意気込み

10月1日の陸上大会を皮切りに県央地区新人大会が行われます。1学期に3年生が引退し、新チームとなって夏休みの練習を頑張ってきました。その練習の成果を発揮する大切な大会です。激励会では、2年生の部長のリードのもと、1年生も大会に向けての意気込みを力強く話していました。自分の力を出し切り、悔いのない戦いができるよう期待をしています。

○2年生

晴天の中、中学校で2度目となる体育祭が行われました。体育祭の練習も含め、本当に楽しくて素晴らしい体育祭でしたね。本番でも、最後まで一生懸命に、そして最後まであきらめず、本当によく頑張りました。3年生の姿を見て、「自分も来年は絶対団長やチームリーダーになる」、「パネルを描きたい」とひそかに心に決めた人がいてくれると嬉しいです。先輩方からもたくさん大切なことを学びましたね。この気持ちを決して忘れないでください。エネルギッシュなみなさんがどんな体育祭を作ってくれるのか…今から本当に楽しみです。

○3年生（R 7. 10. 3号より）

中学校生活最後の体育祭はどうでしたか。団長2人とも閉会式で全校生徒に投げかけましたが、最高の体育祭を作り上げましたね。1、2年生の表情を見ていると全力で楽しみ、全力で競技に臨んでいたことが分かりました。それも夏休み前から準備をし、練習から本番まで何度もシュミレーションを繰り返し、試行錯誤を重ねた結果だったと思います。両軍の特徴も準備の段階から感じていて、赤軍は応援・パネルとも緻密で正確な計画の下、早い段階でゴールのイメージをもてたようでした。青軍は応援・パネルとも1つ1つ時間をかけて考え、イメージしながらじっくり丁寧に作り上げました。一言では表すことができないほど7人それぞれがさまざまな感情になったり、悩んだりしていたと思います。それら全てを昇華させてしまうよう当日のみんなの動きは立派で、体育祭の間に一回りも二回りも大きく成長しました。閉会式での軍団長、実行委員長の言葉には感動しました。率直に自分が感じたことを自分の言葉で述べ、参加者の心を温かくするものでした。3年間のみんなの成長をこんなに間近で見ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも良い姿を全校、保護者、地域みなさんに見せ、須田中を盛り上げていきましょう！心よりお疲れさまと労いたいです。

加茂地区科学研究発表会

10月3日（金）に加茂地区科学研究発表会が開催され、2年生の Naさんと Niさんの2名が研究発表を行いました。

Naさんは、「最近暑い日が多く、首元を冷やすための冷却グッズを使っているが、室内でもすぐに溶けてしまう」と感じたことをきっかけに、冷却グッズの温度変化を調べる研究に取り組みました。より長持ちする冷却方法を探ることを目的に、『一番冷える冷却パックを作ろう ～冷却グッズを調べて～』というテーマで研究を進めました。

一方、Niさんは、祖母が桃を育てていることから、小学6年生のときに「切った桃が放置すると変色する」ことに気づきました。そこから「どうすれば桃の変色を防げるのか？」という疑問を持ち、『桃の色の変化について』というテーマで研究を続けてきました。

その結果、Naさんは加茂地区の代表として、県大会への出場者に選ばれました。おめでとうございます。また、Niさんも「ぜひ県大会に出展したい」という強い意志をもち、自主的に参加を希望したことから、お二人そろって県大会で発表・出展することになりました。

これまでの研究をさらに深め、探究を続ける姿勢は、とても立派です。県大会でのさらなる活躍を期待するとともに、新たな発見があれば、今後もぜひ発表してほしいと思います。



県大会に進みました！！

選手・部員それぞれが
新人戦頑張りました！！

県央新人大会結果

【陸上競技】 10月1日(水)@三条燕総合グラウンド
女子100m K.C 15“89

【卓球部男子】 団体戦

1回戦 対見附西中 3-0 勝
2回戦 対栄中 3-0 勝
3回戦 対燕北中 2-3 惜敗

2位トーナメント進出

◎2位トーナメント

第1試合 対小池中 3-0 勝
第2試合 対三条大島中 3-1 勝
第3試合 対三条第一中 2-3 惜敗

2位トーナメント 第2位

【バレーボール部女子】 分水会場

Bグループ戦 1回戦 対 燕中

0-2 惜敗(12-25, 12-25)

2回戦 対 見附南中

2-0 勝(25-10, 25-21)

決勝トーナメント進出

決勝トーナメント 1回戦 対 大島中

0-2 惜敗(23-25, 23-25)

【バレーボール女子TOS】

全試合勝ち 優勝

冬を制す者は、夏を制す！！

一人一人が基本できることをやっていく。チームとして何ができるのかを考えて、行動することが大切です。これからも、皆で応援しています。

加茂鯉のぼりを泳がせる会の方々との交流

10月9日（木）には、「加茂鯉のぼりを泳がせる会」の皆様が須田中にいらっしゃいました。きっかけは、今年の須田中学生徒会の企画「須田中に鯉のぼりを泳がせよう！」で、観光課の方と連絡をとったことからでした。今回、観光課の方より、泳がせる鯉の「口紐付け体験」を須田中でできたら、というお話をいただき、今回の企画の実現となりました。

この日は、最初に加茂川に鯉のぼりを泳がせた商店街の方も含め、市の観光課の職員の方、市議会議員の方など、計7名の方からお越しいただきました。加茂市の観光の目玉としての鯉のぼりについて、最初に観光課の方からご説明をいただきました。そしてその後、鯉のぼりを加茂川に泳がせるためにつける「口紐付け」を体験させていただきました。会の皆様から、グループに一人ずつ分かれてついていただき、やり方を教えていただきました。慣れない作業に苦労している様子でしたが、一人一人頑張って作業をしていました。鯉のぼりを泳がせるために、いろいろな下準備が必要だということが、生徒の皆さんはよく分かったと思います。貴重な体験でした。

そして、その後、3年生が会の皆様にインタビューをしました。どのような思いをこめて、加茂川に鯉のぼりを泳がせているのか、直接お話を聞くことで、気持ちがよく分かったのではないかと思います。これもまた、大変良い時間となりました。来校してくださった皆様、大変お世話になりました。

